



謹賀新年



第 577 号

令和8年1月1日

公益財団法人 千鳥ヶ淵  
戦没者墓苑奉仕会  
☎ 102-0075 千代田区三番町2  
電 話 03(3261)6700  
F A X 03(3261)6712



郵便振替口座 00140-2-42556

編集人 中村 勤  
発行人 梶木 新二

くにのためいのら  
ナカヅシヒトヘの  
ことをおもへばむねせまり  
くる

歩みきて思  
かの難き曰と  
生きし

「ご遺骨に対して最大限の敬意をもつてお迎えすることが必要である」と考えており、「遺族に安寧がもたらされるよう、一日も早くご帰還されることを強く



昨年を振り返りますと、わが国では終戦80年、昭和百年の催しを始め、好評を博した大阪・関西万国博覧会の開催や二人の日本人のノーベル賞受賞、大谷翔平選手を始めとするアスリートの活躍など明るい出来事があつた一方で、長期にわたる夏の記録的な高温による農作物への被害やクマの人里や市街地への出没による人的被害などが生じました。世界に目を向けてみると、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、イスラエルのガザにおける軍事衝突など、世界では今もなお紛争は続いております。

このような中にあって、昨年10月17日には秋篠宮皇嗣同妃両殿下をお迎えして終戦80年、令和7年度秋季慰霊祭を行いました。本行事につきましては参列者418名と昨年度に比し約40名を超過する規模で実施することができ、関係各位から賜りましたご支援ご協力に対し、

A formal portrait of Masayuki Saito, a middle-aged man with short, light-colored hair. He is wearing a dark suit jacket over a light blue dress shirt and a purple striped tie. A small red pin or emblem is visible on his left lapel. He is smiling warmly at the camera against a plain, light-colored background.

会長 鈴木 俊一  
古めまして衷心より厚く御礼申し上げ  
ます。  
さらに年間を通じまして多くの関係  
諸団体による法要行事が執り行われた  
ことに対しましても重ねて御礼申し上げ  
ます。  
まことに冬残0年の節目ご当地に當り

元年度に迫る勢いがあるものの、会員数は減少の一途をたどっております。またご遺族等の会員を含めた関係者の高齢化が進む中、これら諸課題の解決策等について検討して参りたいと考えております。

社会事業として、戦没者慰靈のあり方についての小論文の募集・発表、墓苑の施設・設備等のリニューアルのための募金、及び「戦争の記憶を伝える」をテーマとした記念講演会を実施しました。お陰様で各事業はそれぞれの目的を達成することができました。

さて、千鳥ヶ淵戦没者墓苑につきましては、昭和34年3月28日、昭和天皇皇后両陛下の行幸啓を賜り、竣工されて以来67年の歳月が過ぎました。戦後間もなく世相混乱のなか墓苑の創建に携われ、またその後は戦没者の慰靈奉贊に多大なご尽力をされた方々並びに奉仕会の活動にご支援ご協力頂いた多くの皆様のご芳情に思いを致し、年の始めにあたり、今一度戦没者墓苑の眞意について

また、令和5年の戦没者の遺骨収集の推進に関する法律の改正により、計画的に遺骨収集が行われています。私は奉仕会の責務完遂をお誓い申し上げます。

は 回 采 よ

千鳥ヶ淵戦没者墓苑には、現在37万9千8百3柱（令和7年10月末現在）のご遺骨が奉安されておりますが、これらの遺骨は先の大戦における海外での全戦没者240万人を象徴するものです。我が国をはじめ全世界の恒久平和へ繋がるべく、戦没者に対する慰靈奉贊の心を風化させることなく、確実に次の若い世代に引き継いでいくよう、私どもは日本国民全体の墓苑として、末永く奉賛されるよう努めて参る所存であります。終戦80年の節目の諸成果を一過性のものとせず後世にしつかりと受け継いでいかなければならぬと考へています。関係各位におかれましても、それぞれの立場において啓蒙していただきたいと思い

この刊行物は、宝くじ<sup>\*\*</sup>の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

**千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会主催  
「終戦80年事業 記念講演会」を開催**

11月16日(日)「戦争の記憶を伝える」

(副題: 戦争の風化を防ぎ、平和の尊さ

を誓う)をテーマにした奉仕会主催の記

念講演会が聴講者約30名の参加を得て

墓苑会議室で開催された。講師には、ビ

ルマ方面戦没者慰靈のため現地を幾度も

訪れている藤原淑子さんとNHK歴史

秘話ヒストリアの解説者(軍事考証、時

代考証)として出演多数の関口高史さ

んが務めた。

講演会は2部構成で、前段を関口さ

んがビルマ作戦の概要を、後段を藤原さ

んが自らのビルマ作戦での戦没者巡礼の

体験と英国人との交流についてそれぞれ

講演した。

講演会の前段、関口さんは「なぜビル

マ作戦が実行されたか」について、ビル

マ作戦の必要性と可能性を、戦略、作

戦及び戦術レベルの区分ごと考察し、本

じた次の4つの大きな問題点を指摘した、

①同盟国、陸軍頼み・海軍頼み、②情

報弱者の不都合な情勢(状況)認識の

排除、③明確な出口戦略の不在(勝利

とは何か、敗北とは)、④無責任がもた

らした悲劇(自らの主張に固執)。

結論として、米英軍は「環境(可能性)

重視型」軍隊であったのに対し、日本軍は

「任務(必要性)重視型」軍隊で、ビル

マ作戦ではその限界を露呈し悲惨な結果

となつた。

後段の講演で藤原さんは、父親・今

里淑郎さんは凄惨な状況となつたインパ

ール作戦から奇跡的に生還した日本兵の

一人で、戦後、ミャンマーの上座僧とな

り戦没者慰靈に残りの人生を捧げたと

語り、藤原さんは27年間父親と一緒に

ビルマ各地を戦跡巡礼し、父亡きあとも

8年間現在に至るまで現地での慰靈を

続いている。藤原さんの父親は小説「ビ

ルマの豊饒」の水島上等兵を思い起こさ

せてくれた。

この間、藤原さんは英国人との4つの

出会いを経験する。1999年2月に

ヤンゴン日本人墓地竣工慰靈祭に「英國

作戦同志会(BCCFG)」の17名が参加

し日英交流が始まり、2023年10月

9日にはビルマ作戦協会(BCS)主催

による「秋の奉仕茶会」が墓苑前屋で

奉仕茶会(会長・市野昭一さん)主催



講演する関口さん



講演する藤原さん

6日後の10月15日に京都靈山觀音で日英遺族交流会が開催、さらに2025年8月に英國の対日本戦勝80周年記念式典での日英交流に至り、これらの活動を通じて藤原さんは次の2つの結論に至つたと述べた。

① 戦争の悲惨さを語り継ぐ・平和は当たり前でない、生きられなかつた戦没者の命を受け継いでいる我々。その大切な命をどう活かすか。

② 終戦80年の時間を経て、英國人との交流から、先の大戦は国を、家族を、守るために戦つた相手がたまたま英國だった。英國が憎くて戦争をした訳でない。「昨日の敵は今日の友」の精神で私は生きていたい。

**ソ連抑留戦友・遺族会東京ヤゴダ会  
第29回鎮魂慰靈祭**

11月3日、ソ連抑留戦友・遺族会東京ヤゴダ会は第29回鎮魂慰靈祭を本墓苑で執り行い約50名が参列した。

慰靈祭は、幹事・島本正彦さんによる開会の辞に始まり、国歌斉唱、黙祷、献茶の儀、神道慰靈祭、奉納演奏・民謡、

献花及び追悼の思いの紹介と進行し、最後に巡検喇叭で終了した。

追悼の思いの紹介で、奉仕会事務所の応接室に展示している「花嫁人形」に

ついて島本幹事から人形に添えられているメッセージ「奉納」陸軍軍官学校第7期生の諸靈へ・日本男児として生まれ、新天地溝州の地と同徳台で共に学び終戦と同時に抑留され、妻を娶ることなく逝ってしまった同期生を思うとき

れ、新天地溝州の地と同徳台で共に学び終戦と同時に抑留され、妻を娶ることなく逝ってしまった同期生を思うとき

胸がつまる。我ら生を得て、祖国に帰つた同期生一同、ここに日本一美しい花嫁を諸兄に捧げる。平成18年5月14日同徳台七期生が紹介された。

(注・人形は奉仕会事務所の応接室に保管しています。ご覧になりたい方は奉仕会へお声がけください)

**第11回 全国宗教者による戦没難者慰靈法要**

先の大戦の戦没者を慰靈する戦没殉死者墓苑で行われた。

法要は、世界連邦日本仏教徒協議会が共催し、今年で11回目となり、天台

(横浜市)と関西宗教懇話会(大阪市)

が共催し、今年で11回目となり、天台

宗や真言宗など仏教7宗11派から52人

の僧侶が参加した。導師を務めた念法

**神道慰靈祭**



表千家流・実行委員会呈茶席



遠州流茶道・田中宗未先生呈茶席



表千家不白流・岩瀬柳満及び藤原柳玲先生呈茶席



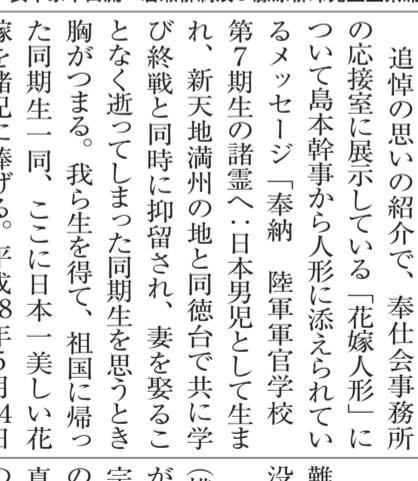
墓前での献茶



献茶の儀



花嫁人形



**第11回 全国宗教者による戦没難者慰靈法要**

この法要は、宗教宗派の垣根を超えて

世界平和の実践を図ることを目的に

行われている。

真教燈主の桶屋良祐さんは墓前で慰靈

の祈りを捧げた。

この法要は、宗教宗派の垣根を超えて

世界平和の実践を図ることを目的に



岩手県遺族会 9月16日



長野県飯山市遺族会 9月9日



静岡県川根本町遺族会 9月28日



群馬県榛東村遺族会 9月27日



陸修偕行社 9月11日



富士浅間神社 9月24日



長野県飯田市遺族会 9月24日

各団体の慰靈参拝



千葉県いすみ市遺族会 10月18日



石川県津幡町遺族会 9月30日



東京都多摩市遺族会 10月9日



東京都武蔵村山市遺族会 10月6日



静岡県遺族会 10月4日



永谷天満宮氏子会 10月22日



浄土真宗本願寺派（鹿児島寺族婦人会連盟） 10月21日



埼玉県和光市遺族会 10月14日



立正佼成会 山形支部 10月31日



東京メレヨン会 10月26日



神奈川県茅ヶ崎市遺族会 10月23日



神奈川県平塚市遺族会 10月29日



神奈川県寒川町遺族会 10月28日



千葉県八街市遺族会 11月6日



福島県郡山市遺族会 11月3日



神奈川県海老名市遺族会 11月2日

各団体の慰靈参拝



神奈川県大和市遺族会 11月12日



さいたま市浦和遺族会 11月10日



東京都羽村市遺族会 11月7日



愛媛県西条市遺族会 11月10日



広島市遺族会 11月10日



記念講演会 11月16日



清掃奉仕会 11月15日



## (公財)千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会への入会のご案内

千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会は、皆様のご支援に支えられ活動しています。当会では皆様のご入会を心からお待ちしております。

## 1 会員の種類と会費

区分	名称	会費
個人	正会員	¥3,000/年
	終身会員	¥30,000 (1回)
団体・法人	特別会員	¥10,000/年
	永代会員	¥100,000 (1回)

## 2 会費の納入

(納入要領の細部は、千鳥ヶ淵戦没者墓苑HPに記載しております)

## ①郵便局での振り込み

・郵便振替口座：記号・番号 00140-2-42556

## ②銀行での振り込み（住所・氏名はメール等で別途お知らせ下さい）

・振込先：りそな銀行 九段支店

・店番号：274

・普通口座：0831949

・口座名義：公益財団法人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会

## 3 会員の特典

・2ヶ月に一回発行する広報紙「千鳥ヶ淵」(行事案内含む)を送付します。

・秋季慰靈祭へ希望すれば参加できます。(多数の場合抽選となります)

・永代会員名簿は、秋季慰靈祭で奉納されます。

## 参拝して想う(休憩所ノートより)

○子育て世代です。20年後の100年の節目にまた来ますね。(B・S) 8/18  
○私は中国の留学生ですが、日本は本当に大好きです。戦争はどの国であっても被害者です。中日両国が憎しみを捨て、団結し平和を築けることを願っています。

○この世に生を受けた全ての人々が、その生涯で誰も殺めることもなく、善き人

のまま命を全うすることができますよう

に。人々の心にある憎しみや差別の種が

花を咲かせることがないように。今、この

国に戦争のない時代に生まれた人間と

して、責任を持って生きていきます。

(丸) 9/15

○消息がわからぬ曾祖父のことを想

い来ました。祖国に帰れなかつたこと

どれほど無念だったかと今でも日々考

えます。曾祖父が生きられなかつた人生を

精一杯まつとうしようと思ひます。

8/22

○この世に生を受けた全ての人々が、その

生涯で誰も殺めることもなく、善き人

のまま命を全うすることができますよう

に。人々の心にある憎しみや差別の種が

花を咲かせることがないように。今、この

国に戦争のない時代に生まれた人間と

して、責任を持って生きていきます。

(入月) 9/23

○亡父は元予科練少年飛行兵、最後の

特攻隊員となる予定でした。出撃命令

が下される直前に熊本の人吉基地で終

戦を迎えました。父は平成10年に亡く

なりましたが、生前には千鳥ヶ淵と靖國

神社にお参りしたいと言つてました。今

日、父の遺影を写したスマホを持ってお

参りに来ました。父の思いを果たせたと

思います。

○本日初めてこちらへお伺いさせていた

だきました。おかげ様で本日も家に帰る

と妻がおり、温かい食事を食べることができます

呂に入り、温かい布団で眠ることが出来

ます。今日この日まで生きてこられた事

に感謝します。まずは自分に出来る事

に全力で生きさせていただきます。

(山口) 11/5

○消息がわからぬ曾祖父のことを想

い来ました。祖国に帰れなかつたこと

どれほど無念だったかと今でも日々考

えます。曾祖父が生きられなかつた人生を

精一杯まつとうしようと思ひます。

○消息がわからぬ曾祖父のことを想

い来ました。